

生活クラブは、山形県庄内地方の酒田市と連携し「住まい」「地域と交流する場」などの機能・施設をつくる「TOCHiTO」プロジェクトをすすめています。2021度から酒田市や施設を整備運営する事業者とともに、プロジェクトに関心がある組合員が参加する「庄内で暮らすを検討する会（以下、検討会）」を開催しながら、生活クラブらしい拠点づくりを目指しています。

「TOCHiTO 通信」は、検討会の開催内容や TOCHiTO 関連の情報を定期的に紹介するために発行します。

— 第6回「庄内で暮らすを検討する会(5月21日)」開催 —

COTO・交流棟で『みんなでできる企画』を一緒に考えました!!

検討会する会の最後に、発表された「交流棟でみんなのできる企画」案は以下の3つです。

提案①山菜とりプロジェクト

地元民と料理交換会や交流会を開き、庄内の自然・文化を知る。山菜^①ポイント、レシピ交換等々。

提案②ディスカバー酒田まちマップづくり

商店街・よかった場所・個人の体験を地図上にポストイットの的に更新。テーマを設定したり、QR コードで地図情報埋込もいいかも。

提案③地元の郷土料理を学ぶ会

「生産者の方を逆に招待!したいね」「案外地元の人も郷土料理知らないかもしれなので、一緒にやろう!」「自分たちで作り方を文字に起こし出版!?' など。

グループ内での話し合いの時からいろんな意見がポンポン飛び出ていましたが、全体での発表会ではさらに盛り上がり、「マップ作るならアプリも作っちゃおう!!」とか、「郷土料理を習うのは年配の方からと思うので、ついでに地元の方言も一緒に学ぼう!」、「規格外の食品いただいて、子ども食堂・ゼロ円食堂もできそう!」等々、前向きなアイデアが次々と出ました。施設完成より一足早く、「みんなでやりたいこと」が、姿を見せ始めています。さらに話し合いを深めて、企画案を広げていきます。



TOCHiTO 開設準備室&Zoom の「庄内で暮らすを検討する会」。鎌田先生(東北公益文科大学准教授)のコーディネートで、酒田市の TOCHiTO 開設準備室(9名)、Zoom(5名)が参加。

TOCHiTO
[ing]

～今どんな状況かな? 私のTOCHiTO!

地鎮祭を終えて、現在は交流棟の地盤の調査中です。調査結果に応じて、地盤改良工事を行ない、その後基礎工事に着手します。9月中頃には、COTO(交流棟)の上棟式を行う予定。

TOCO(居住棟)の建設は、COTOの後に始まり、建築物の組立てが見えてくるのが11月頃となります。



参加型で徐々にかたちになってきた「TOCHiTO」

「庄内で暮らすを検討する会」に参加する組合員の声でココが実現しました

2022年4月 TOCHiTO は着工となり、ハード設計はほぼ完成。2021年度に開催された5回の検討会で、プロジェクトに関心のある組合員がニーズを出し合い、そのニーズを酒田市・事業者とともに話し合ったことで、より生活クラブらしい拠点づくりへと近づくことができました。組合員の声で実現した事項やそのプロセスをご紹介します。

COTO (交流棟)

- 地元産の木材利用
- 交流棟やパティオなどの設計・施工とも地元企業と共同
- 1階には交流スペース・アイランドキッチン・プロジェクター・音響システム・撮影機材・書庫・フローリング
- 2階に防災備蓄庫
- 屋根に太陽光発電パネル設置

こと
coto
交流棟

TOCO (居住棟)

- バリエーションある居室タイプ
→6タイプ：2LDK (大・中)、1LDK (小・中・大)、1K
壁付けキッチンor対面キッチン、ウォーキングクローゼット付きor無し、室内ドアの引き戸タイプ
- ルームシェア利用希望者にも対応
- 保証人なしで、緊急連絡先のみ1名必要
- 2年更新で2年分一括前支払の場合、更新料サービスの特典あり!
- 居住棟での仕事は可能
- 生活クラブでんきの利用 (申込者)
- エレベーター・オートロックの設置
- 景観・光に配慮した居住棟の配置
- ペット (小型の犬・猫) 可
- 商業高校跡地の募集要項で景観配慮を求める

とこ
Toco
居住棟

ちと
chilo
中庭

CHiTO (中庭)

- 家庭菜園ができる場所の配置

TOCHiTO に込めた想い

移住者は、庄内という土地の人・もの・こととつながり「参加する暮らし」を始めます。やがて少しずつ地に根つき、自らも土をつくるようになります。そして、土地の多世代の人々とともに手を動かし、参加することで、実りある生活と持続可能なコミュニティをつくります。

とちと
TOCHiTO

みんなが主役! 「参加型」の検討会のこれまで

第1回「酒田市の拠点に移住したら『やりたいこと』『欠かせないもの』」—2021年8月21日開催

「移住で自己実現したい」「援農したい」など、夢が持てる案が次々出ました。「何をどう言ったらよいか」「こんな意見はわがままと?」と思った人も、参加型で進める道が見えてきました。

第2回「実際の図面(案)をみて『参加する暮らし』をイメージしてみましょう!」—2021年9月18日開催

具体的なそれぞれの暮らしに関する話をしました。キッチン是对面式なの? ペットと暮らすことはできますか? などなど、だんだんと形になっていくプロセスに関われることの楽しさを実感しました。

◆コーディネートの鎌田先生(東北公益文科大学准教授)が、参加者の様々な意見や思いを的確にまとめ、移住・入居検討者のニーズを引き出していきます。



鎌田剛さん

第3回「居住棟と交流棟の計画がまとまります!」—2021年11月27日開催

参加者の「こうだったらいいな!」「あれもしたい!」「ここはどうなるの?」の意見を、西村社長(仮設機械工業)が全面的に受け止めてくれました。その中で、「できること」「できないこと」を伝え、その時点でわかっている情報を全面開示しました!



西村修さん

◆事業を一緒に進めてきた酒田市役所も、各要望に対し、バックアップできること、利用できる移住者支援策等、行政側の情報も同じく全面提供しました。

◆検討する会に参加する誰もが、「言いつばなし」「聞きつばなし」にしない、信頼関係のあるプロジェクトが進んでいきました。



五十嵐康達さん

第4回「酒田のしごと・空き家・足・医療介護 ~今を知って考えます!」—2022年1月22日開催

住まいだけでなく、庄内の暮らしを多方面から検証し、具体的な生活がイメージできる情報が提供されました。すべてが揃ってスタートできる訳ではありません。できないことやないものをいかにカバーするかも考えました。

第5回「いよいよ着工! これからの話をしましょう!」—2022年3月19日開催

入居申込の方法などもわかってきました。TOCHiTOの暮らしが着実に見えてきました。その上で、庄内協議会の生産者の皆さんが、仕事をする場を広く提供し、心待ちにしていることは、生活クラブならではのつながり。さらには、庄内自然エネルギー発電基金の助成制度は、庄内での新しい取り組みの可能性が広がります。

◆さらに「参加型取組み」を共に進化・深化させていきましょう。



庄内ちょっと暮らし滞在(2022年5月22日～23日)

春の飛島めぐり

酒田の地を肌で感じる「庄内ちょっと暮らし滞在」、今回は酒田の離島である「飛島」滞在(1泊2日)で、総勢9名の参加となりました。22日9時30分に酒田港を出発。沢口旅館にチェックイン後、全員で島の西側にある荒崎へ向かいました。往復2時間ほど、途中色とりどりの花や遠くの鳥海山を眺めながら、飛島の自然を満喫しました。

宿に戻り、おいしい夕食を頂いた後は、話は自然と今後 TOCHiTO でどんなふうに暮らしたいかへ。それぞれの思いを語り合いました。

翌日の午前中は自由時間となり、13時45分に飛島を出港、15時に酒田港に戻りました。



酒田→飛島は船で1時間45分。



港からすぐの『龍神社(遠賀美神社)』へお参り。どちらも「おかみじんじゃ」と読むらしい。

参加者の感想

- ・本州とは全く違う景色だった。その中でプラスチックゴミ等の実態も知った。
- ・酒田も良いところだけど、飛島は別世界でした。真面目で深い話もできた。
- ・皆さんとお話できて、各自のビジョンがわかり、有意義で、楽しかった!
- ・素敵な景色と美味しい食べ物、皆さんとのコミュニケーション、良かった!!
- ・渚の鐘から見る西海岸は人口物が一切ない景色。東京には無い! 感激!!



スカシユリが満開。もうすぐ、トビシマカンゾウが咲き乱れる季節の到来。



日本の渚百選の「荒崎」。日本海の穏やかで透明な海が見える。

庄内人紹介①

私が皆さまを庄内で待っています!! ～西村^{しゅう}修さん<仮設機材工業(株)社長>

募集が始まると続々と予約が入り、私どももびっくりです。今回の事業は、本当に良い人に恵まれました。市役所の阿部勉さんや五十嵐さん、鎌田先生、生活クラブの小泉さんや移住検討者の皆さんのネットワークが凄い! これだけの人が集まったら、成功しないはずがない。

私はこの生まれ育った酒田をなんとか活性化したいと、商店街の中心地に北前横丁(屋台村)を造ったり、まちづくりのNPOを立ち上げ障がい者支援や環境活動等を展開してきました。

これらの経験から、TOCHiTOの事業でも、情報の全面開示と即断即決の従来のスタンスを崩さずに進めました。実はNPOを立ち上げた時に、自分たちが楽しいことをやろうと、月に1回、当時の市長やいろんな人を選んで話を聴き、そのあと一緒に呑みながらワイワイ話をしたのですが、これが楽しかった! で、い

ろんな展開にもつながる。ですから、交流棟での月1回のイベントはぜひ皆さんとやりたい。

今回の TOCHiTO は入口に過ぎないと思ってます。入居が始まり軌道に乗ったら、今度は1万坪ぐらいの土地を郊外に求め、中心にセンター棟をつくり、移住者や障がい者、高齢者等いろんな人が関わるコミュニティを展開したい。日本各地の福祉やまちづくりの先進的な取組みが酒田でもできるのではないかと、との夢を持っています。



西村社長の紹介は上記だけでは到底語りつくせません。インタビューのロングバージョンはWEBサイトをご覧ください。「生活クラブ 産地で暮らす」→「デジタルブック」→「TOCHiTO 通信」

今後の「庄内で暮らすを検討する会」開催予定 ※回数は2021年度からの通算です。

- ・第7回 2022年7月30日(土) 「居住棟の契約書を読んで、居住棟運営ルールを検討する(仮)」
- ・第8回 2022年9月30日(金) 「交流棟のシェアオフィスの入居者を紹介します(仮)」
- ・第9回 2022年11月26日(土) 「いよいよ来春から入居開始! TOCHiTOの暮らしと居住棟と交流棟ルール(仮)」

【開催時間】14時～16時 【開催場所】TOCHiTO 開設準備室* & Zoom 全て共通です

【現地見学会】 検討する会の午前中(9:30～11:00)に、同じ開催場所にて開催します。

【庄内ちょっと暮らし滞在】 検討する会の開催日の前日と後日に開催します。

→上記に関する詳細情報及び参加申込み受付はWEBサイト「産地で暮らす」にて。

皆様のご参加、お待ちしております。

*TOCHiTO 開設準備室: 山形県酒田市千石町1-1-4(山居倉庫前)

発行者 生活クラブ共済連
〒160-0022 東京都新宿区新宿6-24-20-B1
問い合わせ 070-3821-8700(担当:小泉)